

横浜市青葉区民文化センター フィリアホール 平成30年度事業報告書

1. 施設の概要

施設名	横浜市青葉区民文化センター フィリアホール
所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号
規模	ホール:定員500席(1階384席、2階116席)
	リハーサル室:定員80名 練習室1~3:定員各10名
延床面積	2,796.62㎡
開館日	平成5年5月1日

2. 指定管理

法人名	東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会共同事業体
	代表企業:株式会社東急コミュニティー
所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号
代表者	代表企業:株式会社東急コミュニティー 代表取締役 雑賀 克英
設立年月日	第2期指定管理期間 平成30年4月1日
指定期間	平成30年4月1日から平成35年3月31日まで

3. 人員配置

要 員	人数	共同事業体所属会社
館 長	1名	東急コミュニティー
貸館業務責任者	1名	東急コミュニティー
受付業務責任者	1名	東急コミュニティー
管理運営責任者	1名	東急コミュニティー
文化事業コーディネーター	1名	東急コミュニティー
地域コーディネーター	1名	横浜市民施設協会
会計担当者・事務担当者	2名	東急コミュニティー
舞台管理スタッフ	3名	神 奈 川 共 立

4. 事業実績

(1)年間利用者数 85,591名 年間開館日数 : 346日

(2)施設利用実績 (注)利用実績には貸館及び自主共催利用を含む

施設種別	利用可能数 (コマ)	実績利用数 (コマ)	利用率 (%)	利用者数 (名)	備考・コメント
ホール	1,038	776	74.8%	55,757名	今年度より、「利用者数」は利用当日に実際の利用人数を報告してもらう方法に変更。利用者数の正確な把握ができています。
リハーサル室	1,730	1,515	87.6%	18,983名	
練習室1	1,730	1,636	94.6%	3,109名	
練習室2	1,730	1,659	95.9%	3,577名	
練習室3	1,730	1,613	93.2%	4,165名	
合計	7,958	7,199	90.5%	85,591名	対前年△5,198名

(3)自主事業実施総数

内容	開催数	来場者数	
主催公演(コンサート系)	26	9,272名	鑑賞型事業公演
主催公演(E&C系)	17	5,196名	アカデミー系・ファミリー向け・地域連携事業
共 催 公 演	19	4,321名	共催事業公演
合計	62	18,789名	

5. 委託収支状況

【収入の部】(税込) ※(注)増減:「決算」-「予算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
指定管理料収入	147,744,000円	147,744,000円	0円	100.0%
施設利用料収入	28,254,000円	25,459,980円	2,794,020円	90.1%
自主事業収入	60,354,000円	55,636,985円	4,717,015円	92.2%
その他雑収入	3,235,000円	5,670,421円	△ 2,435,421円	175.3%
合計	239,587,000円	234,511,386円	5,075,614円	97.9%

【支出の部】(税抜) ※(注)増減:執行率に併せ、「予算」-「決算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
人件費	85,682,000円	85,682,000円	0円	100.0%
事務費	9,738,000円	8,984,674円	753,326円	92.3%
旅費	2,614,000円	2,258,921円	355,079円	86.4%
消耗品費	750,000円	710,720円	39,280円	94.8%
印刷製本費	825,000円	634,244円	190,756円	76.9%
通信費	1,965,000円	1,902,806円	62,194円	96.8%
備品購入費	500,000円	441,235円	58,765円	88.2%
図書購入費	25,000円	19,700円	5,300円	78.8%
施設賠償保険	188,000円	96,795円	91,205円	51.5%
リース料	2,371,000円	2,370,070円	930円	100.0%
手数料	500,000円	550,183円	△ 50,183円	110.0%
事業費	62,001,000円	68,348,686円	△ 6,347,686円	110.2%
管理費	56,110,000円	55,271,269円	838,731円	98.5%
光熱水費	7,911,000円	8,609,899円	△ 698,899円	108.8%
清掃費	3,272,000円	3,102,000円	170,000円	94.8%
修繕費	3,000,000円	1,848,270円	1,151,730円	61.6%
設備保全費	3,527,000円	3,311,100円	215,900円	93.9%
共益費	38,400,000円	38,400,000円	0円	100.0%
公租公課	17,800,000円	18,098,073円	△ 298,073円	101.7%
消費税	17,744,000円	18,073,073円	△ 329,073円	101.9%
印紙税	56,000円	25,000円	31,000円	44.6%
事務経費	8,256,000円	7,733,955円	522,045円	93.7%
本部分	6,881,000円	6,881,000円	0円	100.0%
当該施設分	1,375,000円	852,955円	522,045円	62.0%
合計	239,587,000円	244,118,657円	△ 4,531,657円	101.9%

【収支】(税込) ※(注)増減:「予算」-「決算」にて算出

合計	0円	△ 9,607,271円	9,607,271円
----	----	--------------	------------

●第2期の基本方針 確認

青葉区民文化センターは第2期のテーマとして、以下のようなものを掲げました。

『青葉区民文化センター・フィリアホールの第2期指定管理者としての基本』

“フィリアホール”と“青葉区民文化センター”の二つの顔をめざして～地域を『繋げる』フィリアホール～

1. 二つの顔の青葉区民文化センター

「文化を発信するフィリアホール」と「地域と連携協働する青葉区民文化センター」の「二つの顔」が理想。「フィリアホール」の文化事業は、実績を継続・発展、「青葉区民文化センター」は、地域と協働し「音楽」で気軽に感動を与える。文化発信と地域コミュニティ形成を繋げて、地域の重要な拠点となることを目指す。

2. フィリアホールの文化事業活動

『「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」の二軸を中心とした文化事業』

コンサートシリーズ:クラシックコンサートを中心とした文化芸術鑑賞機会を幅広い層に提供。

●最高峰のアーティストによるコンサート、気軽に音楽親しむ企画により新規顧客開拓。新年企画や他館連携、区や市連携などの特別企画。共催公演も内容を吟味し、より良い企画提供。

エデュケーション&コミュニティ・プログラム:人材育成/地域型プロジェクトを体系的に実施。

●教育系プログラムは対象層ごとに位置づけ。幼児と家族向け、本格的アカデミー系、地域密着型企画に取り組む。音楽を通じてコミュニティに参加できる幅広い層の包摂をめざす。

3. 青葉区民文化センターの、地域コミュニティ・文化的コモンズ形成の牽引役としての活動

『キーワードは「ふれあう」「支える」「活動する」「集う!』

地域課題やニーズを把握し、「音楽」を通して活動し、地域に貢献する企画により、地域の人々との協働を目指す。

(1) 地域と連帯し、地域課題に取り組む

地域の課題に向き合い、地域コミュニティを支える施設や人々とのネットワークを作り、それを繋げ、音楽で地域を繋げる地域コモンズ形成の牽引役。

(2) 市民協働・活動支援・人材育成での基本方針

コンセプトを共有するネットワークづくり。ネットワークを活かし各々の特色を活かした活動をサポート。

「協働していける人」の育成活動。

平成30年度(2018年)の位置付け

第2期初年度は、過去の実績を踏まえて、主要な事業は継承・発展拡大させると共に、新たな活動領域への取組を積極的に推進する年とする。

- 「コンサートシリーズ」は、従来シリーズの基本的継承。加えてホール開館25周年の記念を冠に年間ラインナップを展開。販促広報策を駆使し、集客を安定させ、新たにお越しいただく方を増やす努力をする。
- 「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」では、今年度は、若手音楽家育成や若い音楽愛好家たちへのレクチャーコンサートなどに注力した展開。鑑賞型ではない参加、学ぶ教育型のプログラムを展開。
- 地域コミュニティ形成は今期の重要な役割。地域ニーズ・課題等のヒアリング実施。年間で具体的企画を数本実施目標。地域連携事業は、新区民企画公募、年間2本最低実施。選定は、地域課題取組方針や企画力をポイントに選定し、当館も地域課題に協働して取り組んでいく。
- 施設運営では、より多くの方々にご利用いただけるよう、空き室広報や平日利用促進、リハーサル室でのミニコンサートの推奨、音楽を絡めた講座や朗読会等幅広いジャンルでの利用促進。
ご利用人数の正確な把握を課題とし、ご利用者からの申告確認を徹底。
- 日常的にご意見ご要望を収集するため、情報コーナーや練習室などに常時用紙を配置、ご意見箱を設置。頂いたご意見への回答も掲示。
- 施設管理面では、日常的な保守管理を徹底、経年劣化する部分を重視し、中期的な修繕計画を立案。費用を効率的に使用して、「安心安全快適」な施設環境を維持。

平成30年度(2018年)の全体総括

第2期初年度は、「文化を発信するフィリアホールの顔」と「地域と連携協働する青葉区民文化センターの顔」の「二つの顔」を理想として、実際に具現化するよう活動を行ってきました。各々の事業活動において、新たな視点の導入、新規事業へのチャレンジを行い、成果が出たものも多一方で、これからの課題も見つかった初年度になりました。

- ・文化事業の「コンサートシリーズ」は、ホール開館25周年を冠に主催共催を含めて、全45本の公演を実施し、いずれも公演内容は高品質で高い評価が得られました。集客安定という面で大苦戦する公演が多く出た結果、収支損益の点で非常に厳しい結果となりました。今後の課題が顕在化しました。「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」では、アカデミー系企画を5本実施。新企画にも取り組みました。幼児向けも対象年齢ごとに工夫するなど新たな視点で実施しました。若手音楽家育成では、音楽家に「自分で企画させる」という新たな視点を導入し、実践しました。
- ・地域コミュニティ形成・地域事業は、初年度から積極的に具体的な企画を実施できました。新区民企画の募集・実施においては、予想以上の規模内容のものが実施されました。地域を繋げるという目標の一段階を実現でき、次年度以降につながる成果が出た年になりました。
- ・施設運営では、空室の広報をHPにも掲載できるようになり、利用促進で少し結果が出るようになりました。リハーサル室での幅広いジャンルでの利用はまだ途上ではあるが、ミニコンサート・発表会での利用もみられました。
当日利用人数を申告してもらう方法の導入により、利用人数の詳細把握が可能となり、その申告用紙の裏面を利用して、ご意見ご要望を常に受け付ける方法も定着しました。年間でのご意見はまとめて回答などを表示するようにします。

I. 平成30年度(2018年度)文化事業報告

平成30年度文化事業の基本的方針

培ってきたホール・ブランドイメージと新たな地域密着型企画を進化させ、これまで以上に「地域に開かれた区民文化センター」の役割を明確にした企画のブラッシュアップを図る。コンサート・シリーズでは世界最高峰のアーティストを招聘する企画と新規顧客を開拓するコンサートを企画し、一方で子ども向けプログラムや若手芸術家育成企画をコンサート・シリーズと明確に分割し、対象ごとにシリーズの細分化を行っていく。

1. コンサート・シリーズ : 高品質な文化芸術鑑賞機会を提供する鑑賞事業の実施。

市内を代表する芸術拠点としてのフィリアホールのブランドを醸成し、芸術に感度の高い区民ニーズに応え、地域が誇れるホールを目指す。一方でクラシック音楽に親しみのない層、ハードルを高く感じている層を含めた幅広い顧客に気軽に足を運べるコンサートを提供。

主要なシリーズ

《女神との出逢い》シリーズは、開館以来支持の高いアーティストで確実な集客を見込むほか、要望の高かった期待の新人も迎え、新規顧客層の開拓も目指す。

《ただひとつの世界》シリーズは世界最高峰のアーティストを招聘し、ホールとしてのブランドイメージを高め、新たなファンの獲得を模索。

《らん・らん・ランチにいい音楽》シリーズは廉価で気軽なコンサートとして、クラシックに親しみのない層等幅広い顧客へPR。新規顧客開拓を目指す《本と音楽の素敵な出逢い》や、フィリアホールオープン25周年にあたる本年は、《特別企画》として、ドビュッシーの室内楽作品全曲演奏会の開催を予定。

2. エデュケーション&コミュニティ・プログラム : 教育/地域密着型プロジェクトの発展と体系的実施

お子様と家族向け企画、マスタークラス企画、そしてコミュニティ形成に関わる地域密着型企画の3つの軸をベースにプログラムを実施。音楽を通じてコミュニティに参加できる企画を意識。

育成教育プログラムは「フィリアホール・ミュージックアカデミー・プログラム」(仮称)として、管・打楽器を学ぶ学生向け教育プログラムをスタート。

「未来にはばたくドリームコンサート」を育成プログラム「フィリアホール室内楽アカデミア」として発展させ、従来の企画委員会を改編し、企画運営に積極的にかかわる機会にする。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、子供の感性育成に役立てる機会提供の一方で、保護者層に子どもとの思い出になる時間を提供。若手アーティストを積極的に起用し発表の場として活用。

「地域コミュニティ・プログラム」では区民提案型企画を公募。区民自らが立案・実施する地域ニーズや課題解決を意識した地域密着型企画を実施。

「フィリア・ジュニア合唱団」は、従来の区民企画委員で運営委員会を結成、「区民による企画運営」活動をサポート。

「横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業」による小中学校へのアウトリーチ活動継続、地域諸施設へのアウトリーチや提携企画を拡大。

3. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

国内外のアーティストによるリサイタル、地域のオーケストラ公演など年間20本程度実施。従来のネットワークを活かし、幅広いジャンルの文化芸術を提供。従来貸館で実施してきた優良公演も積極的にサポート。

『平成30年度文化事業の全体総括』

- ・自主共催のコンサートシリーズは、25周年記念として充実したラインナップを用意し、より多くのお客様のご来館を目指した年でしたが、結果は券売が伸び悩む公演も多く、収支面で非常に厳しい結果となりました。結果分析では、個々の内容や価格帯というより、公演数の過剰(他施設競合含む)による顧客の分散が原因と思われます。
- ・公演内容は現代のクラシック音楽最高峰にあたる鑑賞事業にふさわしいものばかりで、ご来館のお客様にはいずれも好評でした。フィリアホールらしい、良質で感度の高い企画を実現できました。高品質な芸術発信というホールの使命は十分に果たしている結果となりました。 ※公演毎の詳細報告は別紙1にて記載します。
- ・販促策として、今年度は新聞媒体や音楽雑誌などにも公演情報を掲載し、マスメディア利用での反応に手ごたえを感じています。公演の集中と、それに伴うチケット販売スケジュールの集中は今後の反省材料とし、一方で効果的なマスメディア利用は今後の販促策の判断素材としていくことができるようになりました。
- ・エデュケーション&コミュニティ・プログラムでは、新規企画や今迄からの内容変更等、新たな取り組みを実施。旧「ドリームコンサート」は名称・体制を一新し、より充実した内容で成功裏に1期目を終えました。
- ・地域課題を意識したコミュニティ形成に係る各種企画の詳細は地域事業報告で記載していますが、各々の企画において新たな試みにチャレンジし、一方で課題も生まれています。新しく公募した新区民企画は当初想定を超える大成功で終了し、地域との連携、協働も充実した初年度となりました。

(別紙1) 平成30年度自主事業 公演内容詳細

文化事業 コンサートシリーズ						
No	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	券売数	コメント
土曜ソワレシリーズ《女神との出会い》						
1	第272回 河村尚子 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ・プロジェクト第1回(全4回)		5/26(土)	414	438	安定した集客の「女神」シリーズにも、後半は公演数過剰による顧客分散の影響が出たとみられる。
2	第273回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル		6/23(土)	311	318	25周年特別公演で、過去の同シリーズ出演者が集結したこともおそらく影響したと思われる。
3	第274回 川久保賜紀 & 小菅優 ヴァイオリン & ピアノデュオ・リサイタル		7/7(土)	434	463	10月の「青木尚佳」は直後のヴァイオリン・リサイタルとの競合、ベテラン・竹澤恭子も10年ぶりの出演による知名度低下が影響か。若手の橋本は他との競合で苦戦を強いられた。5・10月の「河村」は特に10月公演で影響が見られた。一方で知名度で勝る「川久保賜紀 & 小菅優」は集客に影響せず。分散はあったものの多くが350近い券売を達成し、同シリーズの支持が引き続き高く定着したシリーズであることを図らずも証明した。
4	第275回 橋本杏奈 クラリネット・リサイタル		9/15(土)	236	267	
5	第276回 青木尚佳 & エマヌエーレ・セグレ ヴァイオリン & ギター デュオ・リサイタル		10/13(土)	179	183	
6	第277回 河村尚子 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ・プロジェクト第2回(全4回)		11/17(土)	357	378	
7	第278回 児玉麻里 & 児玉桃 2台ピアノ デュオ・リサイタル		12/8(土)	311	328	
8	第279回 アリーナ・イブラギモヴァ & セドリック・ティベルギアン ヴァイオリン & ピアノ デュオ・リサイタル		2/16(土)	358	340	
JUST ONE WORLDシリーズ《ただ一つの世界》						
1	第19回 エリソ・ヴィルサラゼ ピアノ		11/26(月)	333	313	11月公演は、都内よりチケット代が高くなったこともあり、想定より券売に苦戦。1月の2公演は当初不振だったが、音楽雑誌への広告掲載などコアなファンへの販促等により追いつけた。集客と別にブランドイメージの向上に大きく貢献した。
2	第20回 パトリツィア・コパチンスカヤ & ポリーナ・レシェンコ ヴァイオリン & ピアノ		1/15(火)	380	382	
3	第21回 イアン・ボストリッジ テノール		1/20(日)	404	419	
ウィークデーコンサートシリーズ《らんらんランチにいい音楽》						
1	第42回 クリストフ・コワン チェロ & アルペジオーネ		4/20(金)	438	457	ランチ公演は5月「ユシュマノフ」が不振だったものの、全体的に300~400の集客を保った。4月の「コワン」は世界的に貴重な古楽器による歴史的演奏。本来この価格帯では紹介できない大物であり、従来苦戦の続いた古楽器演奏公演としては例外的に好調な販売だった。盲目のピアニスト梯剛之、若手最注目株の人気サクソ奏者・上野耕平は順調に9割~完売の集客。「ガジェウ」「菊本 & 迫」は300名を超える結果だが、同シリーズとしてはあと一押し欲しい集客結果となった。
2	第43回 ヴィタリ・ユシュマノフ バリトン		5/18(金)	241	258	
3	第44回 梯剛之 ピアノ		7/19(木)	418	460	
4	第45回 アレクサンダー・ガジェウ ピアノ		11/6(火)	347	377	
5	第56回 菊本和昭 & 迫昭嘉 トランペット & ピアノ		12/18(火)	313	337	
6	第57回 上野耕平 サクソフォン		2/14(木)	443	466	
土曜ティータイムコンサートシリーズ《音楽のある風景》						
1	第54回 福井敬 & アントネッロ テノール & 古楽アンサンブル		6/2(土)	287	222	両公演とも苦戦。どちらも地元にはゆかりのあるアーティストだったが、集客に貢献しなかったのは残念。区民招待では「新垣隆」の知名度が反響多数で、チケット料金等の問題もあったとみられる。
2	第48回 海野幹雄 & 新垣隆「デュオ・オリゴ」チェロ & ピアノ		9/22(土)	330	293	
ハイムコンツェルトシリーズ2019《ウィーン & バリ、新たな室内楽の風》						
1	第1回 ウィーン・ニコライ弦楽四重奏団		10/6(土)	402	419	「ウィーン・ニコライQ」はウィーン・フィル奏者のブランドで売れ近づく達成、NHKの収録も。一方「ヴォーチェQ」はコアな室内楽ファン向けのプログラムだったことが集客の明暗を分けたか。
2	第2回 ヴォーチェ弦楽四重奏団		11/10(土)	313	252	
トーク & コンサートシリーズ《本と音楽の素敵な出会い》						
1	第4回 奥泉光 × 矢野沙織カルテット 「ビビビ・ビ・バップな午後-ジャズと小説と電腦空間」		8/25(土)	286	204	ホールで開催の少ない「ジャズ」分野の集客が非常に難しいことが如実に表れた公演だった。ライブハウスにチラシ送付などの販促を初実施。作家自身の演奏など、内容は好評を博した。
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》						
1	第11回 「室内楽によるブルックナーの『交響曲第7番』」		9/25(火)	400	408	引き続き主催と共催で各1本実施。オーケストラの楽曲を室内楽にアレンジしての内容濃い演奏。値上げの影響で例年よりセット券が伸び悩んだ。
ニューイヤールガラ2019						
1	神尾真由子とN響メンバーによる「四季」		1/12(土)	455	469	名曲プログラムと、ソリストの人気と知名度の高さが十分に発揮され、早々に完売公演となった。
フィリアホールオープン25周年スペシャル						
1	林真理子 × ジョン・健・ヌツォ × 小林沙羅 × 河野紘子 「かくも愉しき『オペラ』なるもの」		5/24(木)	438	477	大人気作家・林真理子氏と人気オペラ歌手の共演。団体購入が大きく貢献した。内容も従来にないもので大変好評を得た。
2	クロード・ドビュッシー没後100年 室内楽回顧展		11/24(土)	444	445	過去「女神」シリーズ登場のアーティストによる25周年記念公演。単発公演としては集客順調で、まさに「25周年記念」を飾る内容を実現できた。
文化事業 エデュケーション・アカデミープログラム						
No	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	券売数	
ミュージックアカデミー・プログラム						
1	マエストロの白熱教室2018 ~指揮者・広上淳一の音楽道場		7/22(日)	356	460	2018年度はアカデミー企画の充実を図った。「白熱教室」では「投げ銭方式」を試験導入し、券売並みの金額を獲得した。山崎伸子プロデュース企画も開始後から右肩上がりの集客を実現。今期より自主事業とした「ドリームコンサート」もより内容の高いものとなった。管打楽器向けクリニック企画は、学校側等との日程調整が合わず参加者が少なかったが、その分密度の濃い指導ができた。
2	中高生のための管楽器アンサンブル & 打楽器クリニック 「フィリア・ウィンド・アンサンブル・クリニック2018」		9/29(土)	受講45		
3	山崎伸子プロデュース 輝く若手演奏家による《未来に繋ぐ室内楽》Vol.4 チェロ・アンサンブルの饗宴		10/10(水)	314	332	
4	ハバネラサクソフォン・カルテット & ブルーオーロラサクソフォン・カルテット 八重奏コンサート		10/27(土)	288	280	
5	室内楽アカデミア第1期生披露コンサート 未来の音楽家と名手たちが贈る “コンセル・ドゥ・レーヴ” vol.1		2/23(土)	190	138	
キッズ & ファミリー・プログラム …個別詳細は地域事業報告にて						
1	1~3歳のキッズのための「プチ・コンサート」2018(春)		4/10(火)	134	134	年齢別に2部構成
2	夏休みファミリー・コンサート2018《どうぶつたちのカーニバル!》		8/4(土)	877	890	年齢別に2部構成・説明内容工夫

3	0～3歳のキッズのための「プチ・コンサート」(2018年秋)	9/13(木)	176	176	年齢別に2部構成
4	パパとおとあそび～Our Special Daddies!!～	10/13(土)	42	42	プチコンサートの変形企画
5	親子のためのワンダー・キンダー・クリスマス・コンサート2018	12/15(土)	758	755	年齢別に2部構成・説明内容工夫
地域コミュニティ・プログラム …個別詳細は地域事業報告にて					
1	オープンデー2018	8/3(金)	604	364	恒例企画。今年も盛況
2	第5回・ジュニア合唱団 コンサート ♪ひろげよう青葉のハーモニー♪	3/23(土)	329	329	旧区区委員は運営委員に
3	若手音楽家育成 木村有沙プロデュース 1回目	7/31(火)	148		子ども対象&大人向けコンサート
4	若手音楽家育成 木村有沙プロデュース 2回目	11/20(火)	70		子ども対象&大人向けコンサート
5	若手音楽家育成 手作り太鼓を演奏しよう!	8/10(金)	235	256	子ども向けワークショップ
6	若手音楽家育成 高橋龍之介プロデュース	12/4(火)	330		子ども対象&大人向けコンサート
7	地域連携チャリティー あおばカノン2019	3/8(金)	300		地域有志とケアプラザの協働運営

共催公演					
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》共催公演					
	第10回「弦楽合奏によるシューベルトの『ロザムンデ』」【共催】	7/26(木)	298	298	主催と共に実施。9月とのセット券売が不調。
横浜シンフォニエッタ					
1	横浜シンフォニエッタ 室内楽シリーズVol.10	3/13(水)	204	185	地元オーケストラとの協働。世界での活躍が続く指揮者・山田和樹の魅力も大きく、安定した集客を実現。
2	横浜シンフォニエッタ 第14回演奏会	3/14(木)	336	182	
その他共催					
1	松本和将の世界音楽遺産 ロシア編	4/24(火)	173	20	この3公演のうち、5月予定公演が主催者都合により中止。他の2公演も、その影響で十分な販促ができず。今後、この主催者との共催は実施しない。
2	【公演中止】「極上の”朗読”と”音楽”で楽しむ午後」「ブッチーニ～幻想の Aria」	5/27(日)	0		
3	中野裕太×沖仁「異邦人」	8/26(日)	223	109	
4	シャルル・リシャル＝アムランピアノ・リサイタル	5/22(火)	406	434	上期の共催では「アムラン」が好評を得た。一方「スム」は「女神」シリーズのヴァイオリン公演と競合し大きく不振。7月の「ハーヴェスト室内」は、結成初公演ながら主催者努力もあり好評。「ベルリン・フィルQ」「ARCUS」はほぼ例年並み。 10・11月は自主公演と合わせての公演の過剰による顧客分散が特に共催公演で顕著となった。1回の販売スケジュール内で集客が分散する限界も感じられた。11月はピアノの物が続いたが、人気ジャンルでも連続となると分散してしまう。3月の「KIDS」は子ども向け企画定番でもあり、内容とともに安定感がある。3月に初開催した東京音大学生による自主制作企画は、告知期間が短く、料金設定も割高な感が集客では不調だったが、学生自身の企画を成功させるという点では成果実績を上げた。
5	アレクサンドラ・スム ヴァイオリン・リサイタル	5/30(水)	150	110	
6	ハーヴェスト室内管弦楽団 第1回演奏会	7/14(土)	304	193	
7	ベルリン・フィルハーモニー弦楽五重奏団	7/15(日)	344	350	
8	ARCUS(アルクス) 第9回演奏会	9/1(土)	279	207	
9	チェコ・フィルハーモニー室内合奏団	10/8(月)	184	190	
10	ヴィクトリア・ムローヴァ 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル	10/19(金)	301	227	
11	ブルーノ＝レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル	10/24(水)	205	193	
12	(サクソフォン・カルテットマスタークラス共催企画) アカデミー-HABANERA in JAPAN2018	10/26(金)	24		
13	ヤノシュ・オレイニチャク ピアノ・リサイタル	11/7(水)	216	216	
14	Concert for KIDS ～0才からのクラシック♫～	3/2(土)	350	77	
15	東京音楽大学ACT Project協働企画 日本×西洋 -異文化に触発された作曲家たち-	3/5(火)	127	80	
16	ハンス・エルク・シュレンベルガー(オーボエ)・グスターボ・ヌニェス(ファゴット)津田裕也(ピアノ)による室内楽	3/16(土)	197	196	

アウトリーチ活動					
〈横浜市芸術文化教育プラットホーム 学校訪問事業〉					
1	谷本小学校 開催日:9月18日・19日・20日 出演者:篠崎陽子 齋藤綾乃	学校別の詳細は地域事業報告にて			
2	荏子田小学校 開催日:10月30日 出演者:どやどや楽団	学校と事前に綿密な打ち合わせを行い、訪問アーティストも交えて、趣旨目標を明確にした上での実施を心がけた。プロの演奏を生で身近に聞くことでの経験はもちろん、音楽を身近に感じてその楽しさや音楽への関心などを高めてもらえるように考えて実施した。			
3	荏田西小学校 開催日:11月5日 出演者:遠藤真理				
4	みたけ台小学校 開催日:11月29日 出演者:本堂誠				
〈地域連携に係るアウトリーチ〉					
青葉台東急スクエア1階アトリウムコンサート					
1	8/12(日) 出演者:打楽器アンサンブル 3名	青葉台東急スクエア1階アトリウムでのコンサート。東急電鉄からの協賛条件として、東急スクエア販促担当部署との協力により、年間4回程度を実施。基本無料で1日2回のコンサートを実施。若手音楽家を主に起用して、年齢層を問わず楽しめるミニコンサート。3月は例年ジュニア合唱団が登場している。			
2	10/21(日) 出演者:金冠五重奏 5名				
3	12/23(日) 出演者:サクソフォンカルテット 4名				
4	3/2(土) 出演者:フィリアジュニア合唱団				
他施設へのアウトリーチ					
1	地域施設へのジュニア合唱団出演	他施設へのアウトリーチの詳細は地域事業報告にて。地区センター・ケアプラザなどでのコンサートや講座展開			
2	その他施設でのクラシック講座開催及び出演者紹介事業				

その他特別協力					
1	声明&バロックアンサンブル	1/26(土)	施設予約のみホールで優先して行い、その他は一般貸館と同様の対応とする公演。認定基準はホールが高品質な企画と認めるもの。今回4公演のうち「古典四重奏団」「モナコ少年合唱団」「ニューヨークゴスペル」は前回は共催公演で実施。新企画「声明」は伝統芸能とクラシックの融合を行う独自公演で、完売を達成し、初めてご来館のお客様も多数。		
2	古典四重奏団レクチャーコンサート	3/21(木)			
3	モナコ少年合唱団	7/23(月)			
4	ニューヨーク・ゴスペル・ブラザーズ	12/20(木)			

Ⅱ. 平成30年度(2018年度)地域コミュニティ事業報告

平成30年度の基本方針

1. 「集う」「ふれあう」「活動する」場づくり

地域と連帯し、地域課題に取り組む:「音楽芸術」というアイテムを使い、「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」場の提供を目標に、「地域連携」を明確な柱として運営。

●地域課題へのアプローチ:まずは様々な課題へのアプローチ＝ニーズや課題の実態把握

- ★子育て世代:子育て拠点施設から、ニーズや課題をヒアリング。専門の意見を取り入れ、連携した運営・企画を実施。
- ★青少年:「不登校」「発達障がい」等、孤立しがちな青少年と保護者のニーズ把握、学校・各施設団体と連携し企画検討。
- ★障がい者・貧困家庭等:福祉課題を、ケアプラザ・社会協議会等からヒアリング、連携して、気軽に集える場を提供。
- ★団塊の世代:シニア層の活躍機会を創出し、生きがいに繋がる場を提供。地域と繋がるツールとして「音楽」を活用。

2. 市民協働・活動支援・人材育成での活動

区民・市民団体・地域施設・行政など、様々な立場の人と協力・助け合い、市民が主体的に豊かな生活・住みよい地域社会を求められる活動の支援と人材育成を行っていく。

●市民協働という趣旨を活かした企画と人材育成

★区民企画事業:市民から地域課題解決につながる企画案を募集、フィリアは全面サポート、協働して企画の実施運営。区民企画実施者には、協働で企画実施していく中で必要な知識やノウハウなどを学んでいただき、今後地域で活動できる人材育成を目指す。

★区民サポーターの募集:区民サポーターを募集し、フィリアホールの仕事をボランティアとしてお手伝いしていただく。接客・マナー研修を実施し、日常でも活用できる専門的知識・ノウハウを得ていただく。

●市民協働という趣旨を活かした、市民主体の活動への支援協力サポート

★区内文化芸術団体・個人の可視化(データベース:アーティスト・アーカイブス(仮))の設立
区内で活動を行う各個人・団体にアプローチし、賛同を得られた団体・個人等を「登録アーティスト」として登録。データベース「フィリアホールアーティスト・アーカイブス(仮)」を設立します。

●地域で活動する人材への支援・育成

★利用団体向けのステージマネジメント講座などの開催

●区内外教育機関との連携:中学生の職業体験プログラムへの協力・大学との連携

『平成30年度の地域事業総括』

1. 青葉区民文化センターの顔としての活動

●アプローチやニーズの把握にとどまらない具体的な各種企画の実施

初年度は課題やニーズの把握とネットワークづくり、様々なアプローチの模索を目標として活動を始めましたが、地域コーディネーターの持つネットワークや施設との連携などにより、より具体的な企画を初年度から実施することができました。

●企画実施での課題へのアプローチと実践

様々な企画を実施する中で、今年度は特に「子育て」の分野で、エデュケーションアカデミープログラムにおいて、従来以上に子育て世代が参加しやすい内容や体制を整えることができました。

また、オープンデーや各種の協働企画では、障がいのある方の参加や学生ボランティアの参加、区民サポーターの活動など、幅広い区民の参加への第一歩を実現することができました。

2. 市民協働・人材育成での実践

●第2期の新企画は、「区民企画募集と実施」

市民から応募された企画を選定し、全面サポートのうえで実施するという「区民企画」では、3団体の応募があり、すべてを選定。詳細は後述しますが、当初の想定をはるかに超えて、館内全てを利用する大規模な企画が実現されました。

区民企画の実施段階では、企画者とフィリアホールが共同して企画の実現に向け活動し、その中で企画者側にも運営をするスタッフの人材育成という点で、成果が上がったと思います。

●区民サポーターの活動充実

新規参加者8名を含む、16名が登録。公演プログラム準備や公演当日のサポートを主な活動とし、オープンデーや親子向け事業では大きな戦力となっています。接客マナーやボランティア基礎知識等、人材育成に繋がる講習も実施しました。

●若手音楽家の育成

文化事業の「アカデミープログラム」では、第1期実施されたドリームコンサートを自主事業として昇華させて実施し、また地域の小中学校吹奏楽部向けのクリニック講座も実施しました。(詳細は文化事業にて)

「若手音楽家育成」の活動として、音楽家自身にプログラムや企画を実施させて、「出演の場提供」から一歩進んだ視点を取り入れた企画を実施しました。企画段階では子育てやファミリーなどの課題をテーマとして検討してもらいました。

3. 地域とつながる青葉区民文化センターの実践

●地域の施設や団体との共同事業の実現

地区センターやケアプラザとの連携ネットワークはしっかりと構築することができ、それにより多くの人々との連携による事業の協働という部分で、大きな一歩を踏み出した年でした。

市民団体のサポートでは、HP上の整備が進まず、初年度は実現できませんでしたが、具体的な内容の検討は進み、若手音楽家育成という部分では、新たな観点を取り入れるなどの成果が出始めています。

※地域事業の詳細は別紙2にて記載します。

(別紙2) 平成30年度 地域コミュニティ事業 詳細報告

地域課題に取り組み、市民協働の趣旨を活かした各種事業推進を目指し、従来実施の物も内容改編、また新企画に変更するなどして活動を展開しました。さらに、市民協働をより強く意識した「新区民企画」の実施、地域ネットワークづくりとその結果による事業実施などを行いました。

地域を繋げるを掲げた初年度は、当初想定 of 課題の摸索やネットワークづくりという段階を超え、具体的でかつ十分な成果の出る事業展開ができました。共同事業体を構成する横浜市民施設協会の持つ地域に根差した活動実績が、フィリアホールにおいても十分に反映された経過だと思います。

今年度対応したい地域課題・・・以下の報告では「」内の表記にて課題を表記しています。

「子育て」	子育て世代	「青少年」	青少年課題	「シニア」	高齢者、団塊の世代	「コミュ」	地域コミュニティ
「包括」	障がい、貧困家庭、外国人	「協働」	市民協働、市民支援、地域人財育成	「連携」	地域施設連携		

1 エデュケーション&コミュニティープログラム関係

自主事業の中で、地域課題・地域コミュニティを意識した企画

従来より対象年齢別の企画や内容を精査し、「気軽に」「音楽に触れる」を前面に出す企画を実施しました。

事業名	開催日・入場数	概要	課題(テーマ)
フィリアホールオープンデー2018	8/3(金) 入場:604名	※有料入場者:324名@500円(ファミリーコンサート保有者は無料) 恒例の全施設開放イベント。参加者として地域の小さな演奏家や区民サポーター・学生ボランティア等の協力を得て音楽イベントを開催。プロのアーティストの演奏や楽器体験・館内ツアーなど様々な音楽企画を実施。	「子育て」「青少年」 「包括」「協働」
夏休みファミリーコンサート	8/4(土) 入場:877名	1部(未就学向け):421名 2部(小学生向け):456名 指定1500円 今年はテーマを「動物」にして、対象年齢向けに少し説明内容を変化させるなどの工夫あり。出演は慶應義塾大学のワグネルソサエティとOBでアナウンサーの坪井氏が司会。校長会を通してチラシ配布依頼	「子育て」「青少年」 「コミュ」「協働」
親子のためのワンダー・キダー・クリスマス・コンサート2018	8/4(土) 入場:758名	1部(未就学向け):375名 2部(小学生向け):383名 指定1500円 出演は浅野高瑛とハートフル・フレンズ。内容も、ミュージカル女優も加えて、更なるヴァージョンアップの企画。クリスマスファミリー向けで定着した企画となった。校長会を通してチラシ配布依頼	「子育て」「青少年」 「コミュ」「協働」
1歳~3歳のキッズのためのプチコンサート	4/10(火) 入場:134名	1部70名・2部64名 1部 1歳・2部 2~3歳対象:各40組募集・ひとり500円 ワークショップ形式からホワイエに椅子を配置してのロビーコンサート形式に。集客も好評であったが、「幼児も気軽に」という趣旨実現に課題も残った。出演者:NPO法人こどものみかた	「子育て」
0歳~3歳のキッズのためのプチコンサート	9/13(木) 入場:176名	1部87名・2部89名 1部 0歳・2部 2~3歳対象:各40組募集・ひとり500円 春以降出演者などとも協議を重ね、チラシにも「子供が泣いても、歩いてしまっても」と記載し、抵抗があった親子に気軽に参加できることを周知。一方でママにも安らぎをテーマに加えた。 出演者:旧こどものみかた所属のアーティストたち	「子育て」
パパとおとあそび	10/13(土) 入場:42名	1部18名 2部24名 1部 1歳とパパ・2部 2歳とパパ対象:各25組募集・一組1000円 ワークショップから変更した新企画で、「パパと子どもが主役になり音楽を使って、父子の時間の絆を深めてもらう」をテーマに開催。音楽を使って父親の自信につながる企画となった。次期継続企画。 出演者:おとみっく	「子育て」

事業名	開催日	概要	課題(テーマ)
フィリア・ジュニア合唱団運営&コンサート開催	年間運営 3/23(土) 来場:329名	旧区民企画委員で運営委員会組織で活動 新入団11名・合計41名 毎月練習 運営委員と講師陣とで毎回ミーティング等を実施。合唱団の方向性や各々の役割分担などを共有しながらの運営を進めた。合唱技量向上だけでなく、様々な子供たちが集うことで得られるものを大切に活動を目指す。地域コミュニティ形成やある意味のインクルージョンにもつながる活動。3月公演以外にもボランティア活動として地域施設や機関のイベントで活動を展開。 第5回 ジュニア合唱団 コンサート ♪ひろげよう青葉のハーモニー♪ 今年も、川和高校室内楽部との共演が実現しています。 集客のための告知には、タウンニュース・ひろたりあんななどの情報誌に掲載依頼。	「青少年」「コミュ」 「包括」「協働」

2 市民協働・人材育成

2-1 市民協働事業

事業名	開催日	概要	課題(テーマ)
区民企画		区民が音楽を通して地域を活性化する企画を募集、運営・実施のサポート事業 3/15~5/30にかけて企画の公募・3団体の応募があり6月にプレゼン質疑を実施。結果3団体ともに選定。どの企画も当初の予想をはるかに超える内容で、企画する側も、色々つながりや交流が深められ、「地域との絆ができた」と報告にはあり、フィリアとしても実績の上がる企画になった。	「協働」「包括」 「コミュ」
実施区民企画	開催日	概要	課題(テーマ)
①夏休み邦楽祭り 参加者:55名	8/23(木)	「夏休みくちま・三味線・尺八」邦楽祭り 主催:青葉区三曲協会 邦楽に親しむ企画。箏、尺八などの体験ワークショップあり。興味のある方の地域デビュー促進 参加者は高齢の方もいて、邦楽器の体験もにぎわっていた。	「地域デビュー」
②ママたちの文化祭 参加者:900名	11/28(水)	「ママたちの文化祭」 主催:ママたちの文化祭実行委員会 施設内すべてを使用。 テーマ課題は子育て支援・地域デビュー。「子育てママへエールを！」実行委員も子育てママ。出演者も出店者も来場者も子育てママたち。子育てママへの主催者の思いが伝わる企画だった。参加者もまた応援スタッフもいろいろな体験ができた。	子育て 「地域デビュー」
③あおば・ゆかいな春フェスタ 参加者:460名	2/1(金)	「あおば・ゆかいな春フェスタ」 主催:街レッスンコミュニティ 地域で活動しているたくさんの団体が参加し、体験・ミニセミナー・ホール発表等が行われ、多くの来場者が自分の地域での活動に繋がるきっかけの場になった。開催後に団体同士や地域と繋がった事例が報告されている。	「地域デビュー」
あおばカノン2019 参加者:300名 寄付金:83,251円	3/8(金)	あおばカノン2018に参加した地域住民有志と青葉区内の地域ケアプラザとフィリアで構成された実行委員により、「地域をつなげる」をコンセプトに、自然災害復興支援チャリティーコンサートを開催。事前の会議は8回開催、前日リハ、当日まで、かかわったスタッフ関係者は延べ250人。高校生ボランティアなども参加。当日はホール参加7団体・ホワイエ出店16団体。ゲストアーティストによる演奏もあった。ケアプラザスタッフも協働し、地域のネットワークによる事業推進が進められている。	「協働」「コミュ」 「連携」

2-2地域の人財育成

区民サポーター	2018年度区民サポーター 新規8名 継続者を含め16名スタート 学生ボランティア 3名		「協働」
	主な活動	公演プログラム準備(挟み込み)や公演当日のサポート活動。オーフンダーや親子向け事業では大きな戦力。6月に接客マナーやボランティアの基礎知識などの人材育成につながる講習実施	
若手アーティストによるプロデュース企画	若手アーティストによる企画・運営・実施体験サポート。単に、「演奏の場提供」ではなく、若手音楽家自らが企画、プログラム、集客。今後の自分達の活動へ育成支援となる事業。企画にあたっては、地域課題アプローチも意識させた。		「協働」 「青少年」
木村有沙(Sax)企画	7/31(火)	子ども対象&大人向けコンサート 入場者数:148名 リハーサル室にて実施 ①ぼくとわたしのはじめてのクラシックコンサートVol.1/②クラシックをもっと身近にもっと面白くVol.1	「協働」 「青少年」
富田真以子(Perc)企画	8/10(金)	子ども向けワークショップ 入場者数:70名 ホワイエにて開催 フィリアホールで♪おどりのもり 同日開催の手作り太鼓に引き続き、ワークショップ形式で開催	「協働」 「青少年」
木村有沙(Sax)企画	11/20(火)	子ども対象&大人向けコンサート 入場者数:70名 リハーサル室にて実施 ①ぼくとわたしのはじめてのクラシックコンサートVol.2/②クラシックをもっと身近にもっと面白くVol.2	「協働」 「青少年」
高橋龍之介(Sax)企画	12/4(火)	子ども対象&大人向けコンサート 入場者数 330名 ホワイエにて開催	「協働」 「青少年」

<横浜市芸術文化教育プラットホーム 学校訪問事業>

訪問学校とは、事前に綿密な打ち合わせを行い、訪問アーティストも交えて、趣旨目標を明確にした上での実施を心がけました。プロの演奏を生で身近に聞くことでの経験はもちろん、音楽を身近に感じてその楽しさや音楽への関心などを高めてもらえるように考えて実施しました。

訪問予定学校		概要	課題(テーマ)
谷本小学校	6年生対象	出演者:篠崎陽子(打楽器) 齋藤綾乃(マリンバ)	「連携」 「コミュ」
開催日: 9月18日・19日・20日		昨年に引き続き、細かな打ち合わせをすることで、アーティストが届けたい内容に先生のアドバイスをプラスした内容となり、子供たちの興味を高め、音色やリズムの楽しさを届けることができた。	
荻子田小学校	全学年対象	出演者:どやどや楽団(打楽器アンサンブル)	「連携」 「コミュ」
開催日:10月30日		全校対象でも、ただの鑑賞会にならないよう、2学年ごとに3公演とし、年齢に合わせた内容説明を心がけ、音を近くに感じる工夫などで打楽器の楽しさ・迫力が伝わった。	
荻田西小学校	6年生対象	出演者 遠藤真理(チェロ)	「連携」 「コミュ」
開催日:11月5日		トップクラスのアーティストをお連れできた。演奏だけでなく、歴史や楽器の性質のレクチャーもあり、子供が興味を持つ工夫が凝らされていた。間近に聴くチェロの音色と迫力に、声を潜めて聞き入っている姿が印象的だった。	
みたけ台小学校	4年生対象	出演者:本堂誠(サクソフォン)	「連携」 「コミュ」
開催日:11月29日		3種類のサクソフォンを使い、色々なジャンルの曲を楽器を使い分け、音楽の幅の広さを学び、少人数で聞く演奏の醍醐味を間近に感じる事ができた。最後は子供たちの歌と共演し、一体感を感じることができた公演となった。	

<地域施設連携・コーディネート事業> 課題テーマは「連携」「協働」はもちろん、「子育て」「包括」「コミュニティ」などです。

今年度はより積極的に地域の他施設との連携事業を推進しました。まさに協働して企画実施する内容のものや、ジュニア合唱団の訪問演奏。アーティストの紹介コーディネートなどの活動を実施しました。加えて、フィリアホールのスタッフを講師とした音楽講座も実施し、これは地域への音楽の浸透という意味で成果の上がる活動でした。

連携施設等		概要
山内地区センター 地域ケアプラザ(青葉台・さつきが丘・ピオラ市ヶ尾・鴨志田・たまプラザ)	8/10(金)	フィリアホールで手作り楽器を演奏しよう 8月10日(金) 入場者数:235名 出演者:富田真以子他 地区センター・ケアプラザにて「手作り太鼓制作」の講座を開催。そこで、作った太鼓を持ち寄って、フィリアホールで全員で合奏するという企画。フィリアホールには250名近い親子の方がお越しになり、プロの演奏と一緒に楽しむ時間を過ごした。
大場地域ケアプラザ	9/8(土)	ジュニア合唱団出演
たまプラザ地域ケアプラザ	12/16(日)	ジュニア合唱団出演
青葉警察署	11/25(日)	交番の日コンサート(会場青葉台駅頭) ジュニア合唱団出演
美しが丘公園 こどもログハウス		親子コンサート 開催日:10月20日(土)・12月8日(土)・3月9日(土) 出演者をコーディネートでは、あおばカノン主催団体の方との協力協働
若草台地区センター	10/20(土)	クラシック音楽初心者のための「コンサートのマナー」講師芥川純一(フィリアホール文化事業コーディネーター) 講座に加えて、ミニコンサートも開催 出演者:那須亜紀子・漆間有紀
美しが丘西地区センター	11/29(木)	クラシック音楽初心者のための「コンサートのマナー」講師芥川純一(フィリアホール文化事業コーディネーター)
奈良地区センター	11/17(土)	ファミリーコンサート 出演者:北見春菜・蒲田真理子
	3/4(月)	クラシック音楽初心者のための「コンサートのマナー」講師芥川純一(フィリアホール文化事業コーディネーター)
山内地区センター	8/24(金)	夏休みロビーライブin山内 出演者渋谷奈々子(n)他 台風の影響により参加者 41名
	9/4(火)	ダウン症・自閉症スペクトラム発達障がいのある子どもとママのためのフラダンス教室 参加者 4名
	9/25(火)	ダウン症・自閉症スペクトラム発達障がいのある子どもとママのためのフラダンス教室 参加者 4名
	2/17(日)	・ロビーコンサートin山内 タンゴ 出演者徳田サトシ(鍵盤ハーモニカ)他 参加者 98名

Ⅲ. 平成30年度(2018年度)施設運営に関する事業報告

平成30年度の施設運営の基本方針

1. 公正公平な施設運営基本

多くの方にご利用いただき、喜んでいただける施設を目指す。条例他の規定や利用要綱に則り、適正に運営することを前提に、申請・手続き、ご利用本番まで、一定のルールをお守りいただくようお願いしていく。

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

○ 公平公正な施設運営。「施設ご利用案内」を判りやすくし、「利用要綱」、「利用の手引き」を作成し、配布。ルールを守って、皆様が気持ちよくご利用いただける施設運営を行います。

○ 適切な利用料金と利用区分の設定による運営。料金納入や返還等の基本事項は、利用要綱に明記し、利用者には適宜案内。

◎ 利用料金割引サービスとして、一定条件の下でリハーサル利用、練習利用される方への30%割引実施。

◎ 利用状況の適正把握のため、利用時の利用人数を報告してもらう。ホールでは入場者数を把握して報告してもらう。

2. よりご利用いただくための運営努力

◎ 稼働促進策

○ 諸室の予約状況の広報徹底、HPから空室状況が確認できるよう変更。空室状況を週単位で掲示

○ 利用できるジャンル形態の拡大へ、リハーサル室での朗読会など利用できるジャンル形態に柔軟に対応し、区民企画や地域連携事業での活用幅を拡充。

○ ホール空き日を利用したピアニストの夢・カゲレンの企画継続。

○ 「撮影・録音・学校法人」を対象に一次利用での制限緩和。一次利用から、本番利用や恒常的録音利用へ繋げる。

3. ご利用満足度向上のために

◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立、ご利用者の声を踏まえ、満足度向上に取り組む。

○ ご意見ご要望の収集とPDCA

情報コーナーなどに用紙を設置し、「意見箱」のような形で任意提出もらう。諸室の利用人数報告等の記載用紙に「意見欄」を設け、利用終了時に回収。

収集したご意見ご要望は、定期的に内容を検討し、対応方針について検討の上、回答を掲示。四半期ごとに収集したご意見ご要望をモニタリング報告。

◎ 附帯設備や備品の充実

○ サービス充実を求め、備品・附帯設備の購入等検討。照明・音響設備でのご希望に対応できる備品の検討。また利用者の声要望をお聞きし、リハーサル室等の備品・附帯設備の購入も検討。

4. 広報・プロモーション活動、情報提供

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

○ イベントカレンダーを改良し、公演情報に特化した媒体に変更。

○ 会報誌の新規作成。年4回発行し、メンバーはもちろん、区内の各施設等へ配布。

HP全面的リニューアル。公演情報やチケット販売に繋がる部分の充実・施設利用のわかりやすい説明、貸出予約状況公開等、利用者の利便性向上・利用促進。地域で活動する市民団体の紹介、優れた市民団体の広報活動をサポート。

○ チケット予約システムの利用方法を改良し、販売促進に繋がる利用者満足度向上に努める。

○ SNS等の活用と環境整備

メールマガジンやTwitterの活用充実、Facebook等による利用拡大。情報コーナー等でWi-Fiの利用が出来る環境整備。

フィリアホールSNSを活用し、利用団体の広報支援、公演情報やチケット販売情報の情報発信。

6. 年間利用率目標

ホール	69%	自主事業の充実と共に、地域連携事業などでの有効活用を促進します。 現在も、平均稼働率は90%近くであり、ご利用者様から高い評価を頂けておりますが、今後も安定した諸室の利用率を高める為に、様々な取組みを行ってまいります。
リハーサル室	86%	
練習室1	89%	
練習室2	91%	
練習室3	86%	

『平成30年度の施設運営に関する総括』

第2期初年度は、提案書に掲げた活動の具現化に向け、過去の継続とその改良改編、新規の活動等に取り組んできました。実際には、すべての項目で目標を達成することはできませんでしたが、ご利用者へのサービス向上・満足度向上に向けた活動を行ってきました。

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

- 条例・システムの順守は当然として、利用要綱や利用手引きは、随時問題点課題点を模索し、必要な改良改編にも取り組んできました。公平公正を基本としながらも、運用面に対応できる部分がないかを模索し、改善につなげる努力をしました。
- リハーサル利用や練習利用に対しては従来より柔軟に受入れ、割引サービスというよりは、利用の利便性向上と次につながる対応に心がけました。

◎ 稼働促進策

- 空き日利用の企画は継続し、定着してきた感があります。ピアニストの夢は他の区民文化センターでも多く実施されていますが、申込者が多く、毎回抽選となる状況です。
- 利用ジャンルの拡大は、積極的な工夫は行いませんでしたが、以前よりは「発表会」「ミニコンサート」での利用が増えています。またリズムックや子供むけプログラムなどの利用も増えています。
- 区民企画や地域連携事業でのリハーサル室利用は、その事業拡充に伴い増加しています。
- 録音利用も従来より積極的に受け入れる体制をとり、商業系の録音だけではなく、個人の録音やコンクール等への提出用の撮影なども実績がありました。

◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立

- 情報コーナーへの意見箱設置は、不特定匿名の投書などの混乱を避けるため実施していません。利用状況報告書の裏面での意見収集は、実施しましたが、月間数枚程度の状況でした。ご利用者側も継続反復のご利用者が多く、批判的なご意見ご要望は少なかったと思います。年度内での回答揭示ははできず、備品購入等検討可能な事項は、次年度以降に行う予定です。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

- イベントカレンダー改編は実施し、費用削減につなげ、その分で新会報誌の発行を行いました。
- 新会報誌は、春の発行には間に合わず、年間3回の発行となりました。内容も体裁も、会報誌らしく整ったものが完成し、巻頭では「音楽への魅力付け」をテーマとするなど、新たなフィリアホール利用者拡大にもつながるものが完成しました。
- HPリニューアルも、フロントページ他大部分のリニューアル完成。市民団体支援の広報枠等ははまだ未完成で今後継続となります。完成した部分は、過去と比べて見やすくわかりやすくなり、情報量も増えています。施設利用に関するページは格段に充実したものになりました。
- チケット予約システムも、より購買促進につながるよう、WEB予約での座席指定、セット券購入、学生券購入などの変更を実施し、時代ニーズに合った改編を行いました。ご利用者の評価も好評です。
- SNSでは、メールマガジン・Twitterの発信促進はでき、Twitter発信は回数も多く、販促・情報発信が実現しています。Facebook利用は様々な制約や安全策を検討したうえで実施することとしました。
- Wifi環境は9月に設置工事实施。FreeWifiの利用が可能となりました。スマホの普及に合わせて、カウンターでご自身がその場で手続等の対応ができるようになりました。

年間稼働率実績

	目標	実績	コメント
ホール	69%	75.2	空き日企画や地域事業などでの有効活用が促進された
リハーサル室	86%	87.6	目標は達成。平日夜間の利用促進策は必要。夜間68.5%
練習室1	89%	94.6	目標は達成。夜間率は90.5%。日祝夜間が低迷
練習室2	91%	95.9	目標は達成。夜間率は91.0%。日祝夜間が低迷
練習室3	86%	93.8	目標は達成。夜間率は85.5%。日祝夜間が低迷

IV. 平成30年度(2018年度)施設管理に関する事業報告

平成30年度 施設管理への活動

施設及び設備の維持保全及び管理

「総合的なマネジメント力」を発揮し、清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、安全・安心、快適な施設空間を提供。但し、費用は適切管理の下で、故障発生を未然に予測する「予防保全」意識し、最小費用で効果の上がる方法を模索。

1. 日常点検と予防保全

予防保全を実現するために、日々の適切な点検(日常点検)と定期的な専門会社による点検(定期点検)を確実に実施し、点検内容を確認・検証することで修繕の必要性を判断。

◎舞台設備保守

年間定期保守計画を作成、実施。定期保守での不具合箇所は、適宜判断し必要な対応実施。

スタインウェイは、使用時調律必須。ヤマハは調律任意を継続し、施設で定期保守以外の調律実施。

2. 清掃、美観管理業務の方針

施設的美観維持に務め、カーペット部分は定期洗浄とは別に日常的に染み抜き作業。

必要な薬剤や清掃用具を適切に使用し、年間費用範囲で特別清掃実施。

3. 備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理。ホール備品使用は貸出及び収納の管理を徹底。他の備品はご利用者の貸出返還の管理を徹底。

4. 防火防災・防犯への取組み

●非常時対応マニュアルの整備

共同防火管理体制の一員として、緊急時には所定の指示に基づき行動。青葉区民文化センターの「非常時対応マニュアル」を整備し、緊急時を対応。

防犯対策についても、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切に対応。

5. 運営組織の構造：少数精鋭により総合力を発揮する人材の配置

●少数精鋭の「フィリアスタッフ」

責任者を含む8名、舞台スタッフは3名で構成。共同事業体各社を含め全員で横断的に業務を遂行。組織の一体感が少数精鋭の「フィリアスタッフ」として機能。

●スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

定期的な研修やミーティングにより課題の共有、能力ブラッシュアップミーティングは適宜実施し、スタッフ間で意見交換、課題解決策の模索。

『平成30年度 施設管理活動の総括』

1. 日常点検と予防保全

- 日常点検、定期保守は適宜適切に実施し、経年劣化が進む諸々の問題にも適切に対応しています。
- 不具合箇所の修繕については、費用高額化・建築設備業界の資材・要員不足などが影響し、必ずしも完全に実施には至りませんでした。特に業界要員不足は、施設側の工事可能日と業者の手配が折り合わず、年度内での実施が不可能となったケースもありました。

定期保守及び修繕詳細報告は別紙にてまとめ

2. 清掃、美観管理業務の方針

日常清掃は委託業者と連携して適宜実施しています。代表企業の施工管理部門により、年1回清掃のインスペクションを実施し、詳細な部分で日常清掃のアドバイスや必要な薬剤等の指摘を行い、更なる美化促進に努めています。

3. 備品管理

- 備品台帳は適切に管理していますが、25年の経過を経て、内容の検証修正が必要な部分も多く、「備品」の内容精査、消耗備品に該当する内容の削除検討などを行いました。

4. 防火防災・防犯への取組み

- 大規模災害の発生はなく、安全な施設環境を維持することができました。
- 防犯対応は、ビル警備との連携を強化しており、不審者等の対応も連携しています。

5. 運営組織：少数精鋭で総合力を発揮する人材の配置

- 責任者を含む8名、舞台スタッフは基本3名。共同事業体各社間の連携もよく、横断的に業務を遂行しています。少数精鋭の「フィリアスタッフ」として一体感のある業務遂行を心がけています。
- カウンタースタッフやレセプションистも、業務の改善改革の意識を持ち、ご利用者に、より良いサービス・接遇ができるように研修を重ねています。

※点検・清掃の詳細は別紙3・工事修繕詳細は別紙4にて記載します。

(別紙3) 施設管理・施設運営実施詳細

1. 維持管理年間実施状況

NO	実施年月日	実施内容	業者名	対応箇所	点検結果等
1	4月9日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
2	5月7日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
3	5月29日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
4	6月11日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
5	6月11日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
6	7月9日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
7	8月14日	ヤマハピアノ定期保守	ヤマハ	ホールグランドピアノ・リハ室・楽屋	リハーサル室弦断線
8	9月3日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
9	9月3日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
10	9月4日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
11	10月22日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
12	10月23日	スタインウェイ1号	松尾楽器	良好	定期保守・調律
13	11月12日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
14	11月29日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
15	12月3日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
16	1月17日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好
17	1月18日	スタインウェイ2号	松尾楽器	良好	定期保守・調律
18	1月22日	舞台音響定期点検	ヤマハサウンド	ホール	特になし
19	2月4日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
20	2月4日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
21	2月18日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
22	2月19日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
23	2月18日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
24	3月4日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	練習室2・3	良好

※スタインウェイピアノは、使用時に調律必須(施設利用者負担)・自主は管理者負担

※ヤマハグランドピアノは、使用時の調律は任意。管理者にて、定期保守以外に3回調律実施

2. 清掃美化・環境管理 年間実施状況

区分	実施内容	実施状況	対応箇所	点検結果等
日常	日常清掃業務	毎日	全室	
定期	床洗浄・ワックス塗布	1回/3ヶ月	舞台袖・楽屋・リハ室等	良好
	カーペット洗浄	1回/年	ホワイエ・楽屋・練習室	一部経年劣化
	窓ガラス(内面)	6回/年	ホワイエ	良好
環境管理	ホール環境測定	4回/年	全室の空調・温度測定	良好
	照度測定	2回/年	ホール内照度測定	良好

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。

3. 研修・ミーティング等 実施状況

研修名	主催者	実施日	対象者()内は参加者数	概要
消防訓練(2018)	東急スクエア	6月・11月	事務所勤務者 (1)	避難訓練・設備学習等
災害時安否確認訓練(mail)	東急コミュニティー	3カ月毎	事務所・カウンタースタッフ (15)	メールでの安否確認
コンプライアンス教育研修(テキスト)	東急コミュニティー	毎月	事務所・カウンタースタッフ (15)	社内資料配布・自己学習
個人情報保護研修	東急コミュニティー	6月・11月	事務所勤務者	eラーニング・テキスト形式
カウンタースタッフミーティング	フィリアホール	年間3回	カウンタースタッフ+事務所	課題共有・改善案検討
レセプションistミーティング	フィリアホール	年間3回	レセプリーダー+事務所	課題共有・改善案検討

(別紙4)平成30年度工事・修繕報告書

施設名 青葉区民文化センター

金額は税込

NO	工事・修繕期間	工事・修繕内容	金額(円)	業者名
1	4月18日	ホワイエ男子温水便座設置(1台)	360,000	東急ファシリティサービス
2	4月30日	コンバータ基盤修理	25,000	ヤマハ
3	5月15日	音響機器修繕	58,500	剣プロダクションサービス
4	5月16日	ホール客席座席補修(点検後修理)	29,500	KSS株式会社
5	6月20日	ホール客席足元誘導灯交換(LED化)	350,000	東急ファシリティサービス
6	9月1日	リハーサル室ピアノ弦張り	4000	ヤマハ
7	9月11日	Wifi設置工事	200,000	NTT東日本
8	9月11日	Wifi設置関連工事	58,930	NTT東日本
9	9月16日	ハロン消火設備バッテリー交換	90,000	東急ファシリティサービス
10	10月26日	ピアノ庫空調機修理	74,670	ピーエス工業(株)
11	10月31日	ホールピアノ線断線修理	12,600	(株)松尾楽器
13	11月12日	PLCバックアップ用バッテリー	4,000	三精テクノロジーズ(株)
14	11月21日	漏電調査	70,000	剣プロダクションサービス
15	2月20日	変電室変圧器PCB検査	140,000	東急ファシリティサービス
16	2月20日	変電室高圧ヒューズ交換	150,000	東急ファシリティサービス
17	3月20日	ホール客席座席補修点検	150,000	KSS(株)
18	3月20日	事務所空調機フィルター交換	130,000	三喜産業(株)
	年間合計		1,907,200	

平成30年度 「青葉区民文化センター（フィリアホール）」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)		説明
指定管理料	147,744,000		147,744,000	147,744,000	0	100.0%	横浜市より
利用料金収入	28,254,000		28,254,000	25,459,980	2,794,020	90.1%	施設利用料:想定稼働と単価の誤算(夜間枠利用低迷)
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	60,354,000		60,354,000	55,636,985	4,717,015	92.2%	自主事業収入(共催・地域事業含む) チケット販売不振
自主事業収入			0		0		
雑入	3,235,000	0	3,235,000	5,670,421	△ 2,435,421	175.3%	
印刷代	97,000		97,000	81,009	15,991	83.5%	
自動販売機手数料	389,000		389,000	421,721	△ 32,721	108.4%	
駐車場利用料金収入			0		0		
その他()	2,749,000		2,749,000	5,167,691	△ 2,418,691	188.0%	補助金・協賛金(想定より増)・委託手数料等
収入合計	239,587,000	0	239,587,000	234,511,386	5,075,614	97.9%	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)		説明
人件費	85,682,000	0	85,682,000	85,682,000	0	100.0%	
給与・賃金	72,677,000		72,677,000	72,677,000	0	100.0%	人件費給与
社会保険料	13,005,000		13,005,000	13,005,000	0	100.0%	上記給与の法定比率
通勤手当	0		0		0		
健康診断費			0		0		
勤労者福祉共済掛金			0		0		
退職給付引当金繰入額			0		0		
事務費	9,738,000	0	9,738,000	8,984,674	753,326	92.3%	
旅費	2,614,000		2,614,000	2,258,921	355,079	86.4%	旅費交通費交通・通勤費(想定より減)
消耗品費	750,000		750,000	710,720	39,280	94.8%	文具・各種消耗品購入他
会議滞在費			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
印刷製本費	825,000		825,000	634,244	190,756	76.9%	名刺・コピー・施設印刷物は実績なし
通信費	1,965,000		1,965,000	1,902,806	62,194	96.8%	通信費・ネット使用料・郵送料・運搬費(除く公演関係)
使用料及び賃借料	0	0	0		0		フィリアでは対象費用なし
横浜市への支払分			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
その他			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
備品購入費	500,000		500,000	441,235	58,765	88.2%	備品購入(通常備品・機材等特別備品)
図書購入費	25,000		25,000	19,700	5,300	78.8%	図書購入
施設賠償責任保険	188,000		188,000	96,795	91,205	51.5%	損害保険料(施設賠償・ボランティア・イベント保険が低価で確保)
職員等研修費			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
振込手数料			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
リース料	2,371,000		2,371,000	2,370,070	930	100.0%	各種リース:AED新規リース未発生
手数料	500,000		500,000	550,183	△ 50,183	110.0%	クレジット手数料
地域協力費			0	0	0		フィリアでは対象費用なし
事業費	62,001,000	0	62,001,000	68,348,686	△ 6,347,686	110.2%	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	62,001,000		62,001,000	68,348,686	△ 6,347,686	110.2%	広告宣伝+文化事業費+地域事業費+チケットシステム+HP管理
自主事業費			0		0		(上記増は、出演料変動(出演者変更楽器運搬費追加等による))
管理費	56,110,000	0	56,110,000	55,271,269	838,731	98.5%	
光熱水費	7,911,000	0	7,911,000	8,609,899	△ 698,899	108.8%	
電気料金	6,882,000		6,882,000	7,672,154	△ 790,154	111.5%	電気料金:使用料金単価の増(対前年10%程度)
ガス料金	0		0	0	0		該当無し
水道料金	1,029,000		1,029,000	937,745	91,255	91.1%	水道料金
清掃費	3,272,000		3,272,000	3,102,000	170,000	94.8%	専用清掃・特別清掃が未発生
修繕費	3,000,000		3,000,000	1,848,270	1,151,730	61.6%	修繕費:工事金額高額化・工事業者の手配不足(作業員不足)
機械警備費			0		0		該当無し
設備保全費	3,527,000	0	3,527,000	3,311,100	215,900	93.9%	
空調衛生設備保守	160,000		160,000	35,000	125,000	21.9%	空調機点検・フィルター交換・環境測定費用計上
消防設備保守	23,000		23,000	66,100	△ 43,100	287.4%	防火対象物点検・消火器充填無し
電気設備保守	0		0	0	0		共益費に含む
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	0.0%	空調測定等に充填
駐車場設備保全費	0		0	0	0		共益費に含む
その他保全費	3,294,000		3,294,000	3,210,000	84,000	97.4%	舞台設備・その他保全費を空調測定等に充填
共益費	38,400,000		38,400,000	38,400,000	0	100.0%	共益負担金
公租公課	17,800,000	0	17,800,000	18,098,073	△ 298,073	101.7%	
事業所税			0		0		フィリアでは対象費用なし
消費税	17,744,000		17,744,000	18,073,073	△ 329,073	101.9%	消費税相当分
印紙税	56,000		56,000	25,000	31,000	44.6%	収入印紙
その他()			0		0		フィリアでは対象費用なし
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	8,256,000	0	8,256,000	7,733,955	522,045	93.7%	
本部分	6,881,000		6,881,000	6,881,000	0	100.0%	本社経費他
当該施設分	1,375,000		1,375,000	852,955	522,045	62.0%	事務経費・その他諸費用は費用削減、未発生あり
二一ス対応費			0	0	0		
支出合計	239,587,000	0	239,587,000	244,118,657	△ 4,531,657	101.9%	
差引	0	0	0	△ 9,607,271	9,607,271		

自主事業費収入	60,354,000		60,354,000	55,636,985			協賛金・補助金は含まず
自主事業費支出	62,001,000		62,001,000	68,348,686			
自主事業収支	△ 1,647,000		△ 1,647,000	△ 12,711,701			

管理許可・目的外使用許可収入							
管理許可・目的外使用許可支出							
管理許可・目的外使用許可収支							